

経済倶楽部便り

◆東京◆ 8月は定例講演会が夏休みに入り、倶楽部事務局も講演会準備に追われる状態が一段落します。ただ、今年はコロナ対応の緊急事態宣言期間が延長続きのほか、57年ぶりの東京五輪開催と気ぜわしい日々になりました。五輪

ではほとんど知らない若い選手の活躍に元気を貰いましたが、開・閉会式の盛り上がりを欠いた演出は、講演会の講師の何人かが指摘している日本の潜在力の劣化を目の当たりにしている印象が拭えませんでした。今年も9月号には過去の講演会を再録します。今回は戦前、自由主義ジャーナリストとして活躍した清澤冽氏です。

7月の新会員をご紹介します。武蔵野銀行東京支店長の天田裕様です。

10月の定例講演会は拓殖大学海外事情研究所教授の富坂聰氏、大正大学地域構想研究所教授の小峰隆夫氏、京都大学ウイルス・再生医科学研究所准教授の宮沢孝幸氏、神奈川大学法学部教授の大庭三枝氏、毎日新聞社専門編集委員の与良正男氏を予定しています。

◆中部◆ 今年は東京の経済倶楽部が設立されて90年目ですが、中部経済倶楽部は83年目になります。東海圏でも長命な講演会組織ですが、会員の高齢化や減少克服が引き続き課題です。

10月は福山大学客員教授の田中秀征氏、第一生命経済研究所首席エコノミストの永濱利廣氏の予定です。
(日暮良一)